教育のぼりべつ

令和5年
10月5日
No.39

発行；登別市教育委員会 TEL. 0143-88-1100　〒059-0014 登別市富士町７丁目 33 番地

登別市デンマーク友好都市 中学生派遣交流事業

８月７日（月）から１５日（火）までの９日間にわたり、市内２校の中学生と明日中等教育学校の生徒９名が、登別市と友好都市協定を締結しているデンマークのファボーミッドフェン市との交流事業に参加しました。

生徒たちは、「アンデルセン博物館」や登別マリンパークニクスのお城のモデルとなった「イーエスコー城」、「レゴランド」の見学や学校・施設の訪問など、多くの貴重な体験をすることができました。生徒たちに感想を聞くと、「初めての海外でいろいろな文化に触れられたよい機会であった。この経験を将来に役立てたい。英語をもっと勉強して、またデンマークに行きたい。」と話していました。


イーエスコー城


レゴランド


ホストファミリーと記念写真


交流会の様子


コペンハーゲン市


アンデルセンが建てた学校

「北京少年野球クラブの児童」幌別小学校訪問

中国北京市の「one team」野球ソフトクラブの児童１４名が、異文化理解と交流促進を図ることを目的に北海道を訪問し、７月１４日（金）に幌別小学校で交流会が開催されました。



まず、幌別小３年生の児童による中国語で歓迎の挨拶と、よさこい踊りを披露しました。続いて北京の児童からは、踊りや楽器演奏等が披露されました。給食は、１年生・２年生・５年生に分散して幌小の児童と一緒に食べました。給食終了後には清掃活動（拭き掃除、机運び）にも参加。昼休み時間には、ドッジボール等で仲良く遊びました。午後の授業では、６年生の書道と４年生の工作（折り紙）の両方の授業に参加し友好を深めました。











「記録に挑戦-体育大会」

７月１４日（金）、登別中学校で校内体育大会が開催されました。３年生がリーダーとなり「赤・白」縦割り２チームで競い合いました。１００M走の他、男子１５００M走、女子８００M走、ハンドボール投げ、全員リレー等、自己新記録を目標に１秒でも早く、１cmでも遠くに投げようと一生懸命各種目に取り組んでいました。



１００M走



ハンドボール投げ

「いじめの避難訓練」全小学校で実施

市内全小学校で、いじめなどの悩みをひとりで抱え込まない方法を身に付ける授業「いじめの避難訓練」を実施しました。「いじめの避難訓練」は、北海道教育大学大学院の小沼豊准教授が、２０１９年から札幌市の一部の小中学校で実践しています。登別市では今年から、市内全小学校４年生を対象に授業を行い、授業では、子どもが２人一組で「悩みを相談する役Ａ」「相談を受ける役Ｂ」に分かれてロールプレイを行いました。Ａが「最近、みんなから無視されているような感じがして、、、。」Ｂは「一緒に誰かに相談にいかない？」などと台本にそってやりとりし、声に出して援助を求める体験をすることで、悩みがあるときの SOS の出し方を学びました。





２人一組で「悩み相談する役」と「相談される役」に分かれて演技（富岸小学校での授業）

いじめ撲滅「DBA 集会」

７月１６日（金）に幌別中学校で、DBA 集会が開催されました。DBA とは、「Don’t　Bully　Anybody」の略で「誰にもいじめをさせない」ということを意味しています。事前に全校生徒に実施したアンケートを元に、その結果や分析を報告したほか、生徒会役員がいじめを題材にした３つのロールプレイ行い、その後、全校生徒が縦割りで２２グループ（6～7 名）に分かれディスカッションで交流し、自分の考えを深めたりしていました。生徒たちは、積極的に参加し、全校生徒みんなで協力して、いじめゼロを目指していこうと決意しました。



ロールプレイの様子



ディスカッションの様子

市内全小学校で「世代間交流会」がスタートました！

登別市教育委員会では、市内の全小学校において、登別市地域学校協働本部実行委員会が主催する「世代間交流事業」を実施しています。これは、地域ボランティアの皆さんの豊かな知識や経験を活かした「昔遊び」の体験による交流活動等を通して、子どもたちの豊かな人間性を育成することをねらいとしています。

幌別西小学校２年生を対象に開催した「世代間交流会」では、自分達の地域に住んでいるおじいちゃんやおばあちゃんから、竹とんぼやお手玉、けん玉、だるま落としなどの「昔遊び」を教えていただき、楽しい一時を過ごしていました。どの子も、笑顔でいろいろな昔遊びに夢中になって取り組み、とても貴重な体験となりました。この後 10 月 28 日に登別小学校、11 月 7 日に幌別東小学校で開催予定です。



竹とんぼを教えてもらう子どもたち



だるま落としに挑戦する子どもたち

元気に市民ラジオ体操会

７月２９日（土）鷲別小学校と青葉小学校のグラウンドを会場に、「市民ラジオ体操会」が登別市スポーツ推進委員会と教育委員会の共催で実施されました。



「市民ラジオ体操会」は、市民の体力向上・健康保持や規則正しい生活習慣の定着を目的としています。

早朝にもかかわらず、児童や保護者、関係者など、両会場合わせて約１６０名が集まり、６時半から「ラジオ体操会」を開始。スポーツ推進委員の手本を見ながら元気良く取り組んでいました。これを機に「早寝・早起き・朝ごはん運動」に進んで取り組み、規則正しい生活を心がける子どもたちが、一人でも多くなることが期待されます。



また、ラジオ体操会終了後には、フィンランド発祥のスポーツ「モルック」の体験会が行われ、参加した子どもたちは、的を目がけて棒を投げ合う「モルック」の楽しさに触れていました。